

特殊文字列の機能を使う

- ・本資料は、レーザー加工機 RSD-SUNMAX-FL30/50 または UVZH が正常にセットアップされていることが前提となります。
- ・本資料は、RRSD-SUNMAX-FL30/50 または UVZH 用制御ソフト EzCad2J が正常にインストールされていることを前提にしています。
- ・本資料は、データ作成方法等の詳細内容については、言及しません。
(詳細な内容については、「EzCad2J ユーザーマニュアル.pdf」を参照ください。)

準備

加工を行う前に EzCad2J の設定を確認します。

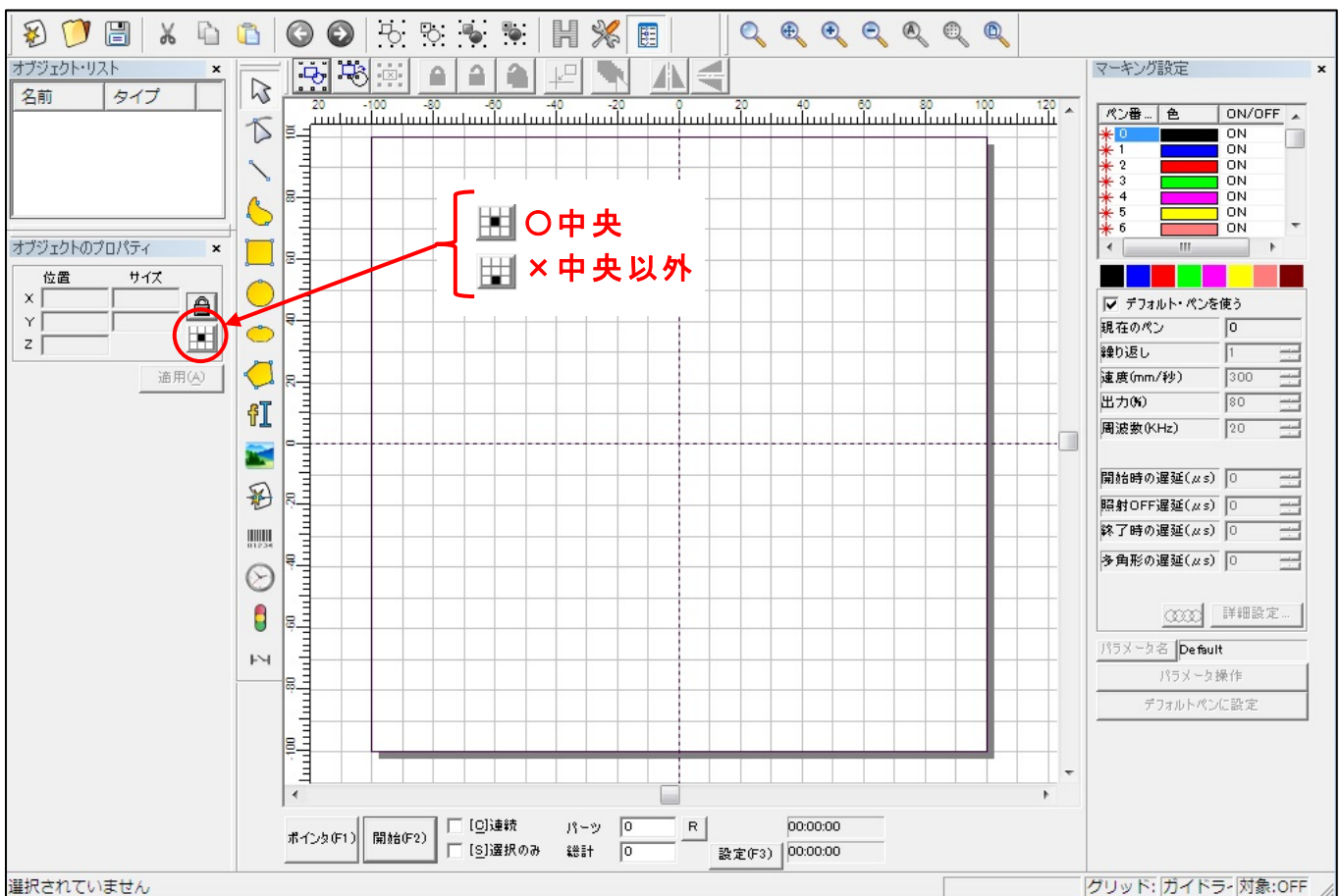
加工のたびにを行う必要はありませんが、適切な設定になっていないと加工位置がずれてしまいます。

(1) レーザー設定

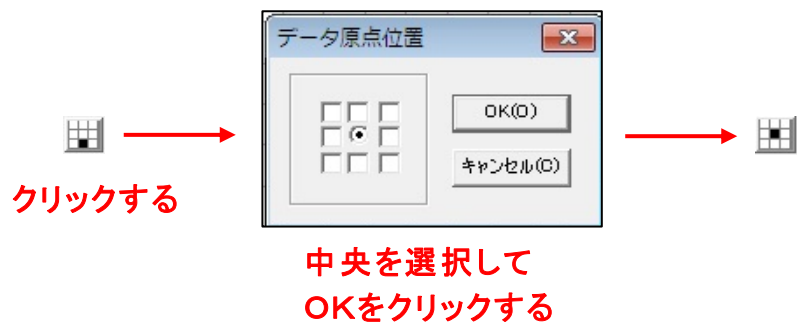
別紙「レーザー設定マニュアル.pdf」を参照し、データ内容と加工結果が一致するように設定・調整してください。特にレッドポインターと実際の加工位置が一致するように調整してください。

(2) データ原点の設定

データ原点は中央に設定してください。



データ原点が中央でない場合は、ボタンをクリックして中央に設定してください。



(3) 装置のスイッチボタン

装置操作卓の右側3つの制御ボタンが押されているか確認ください。



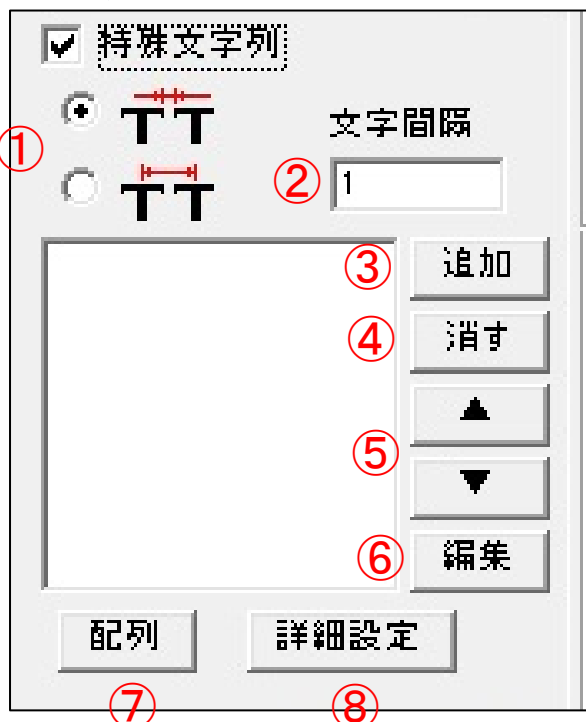
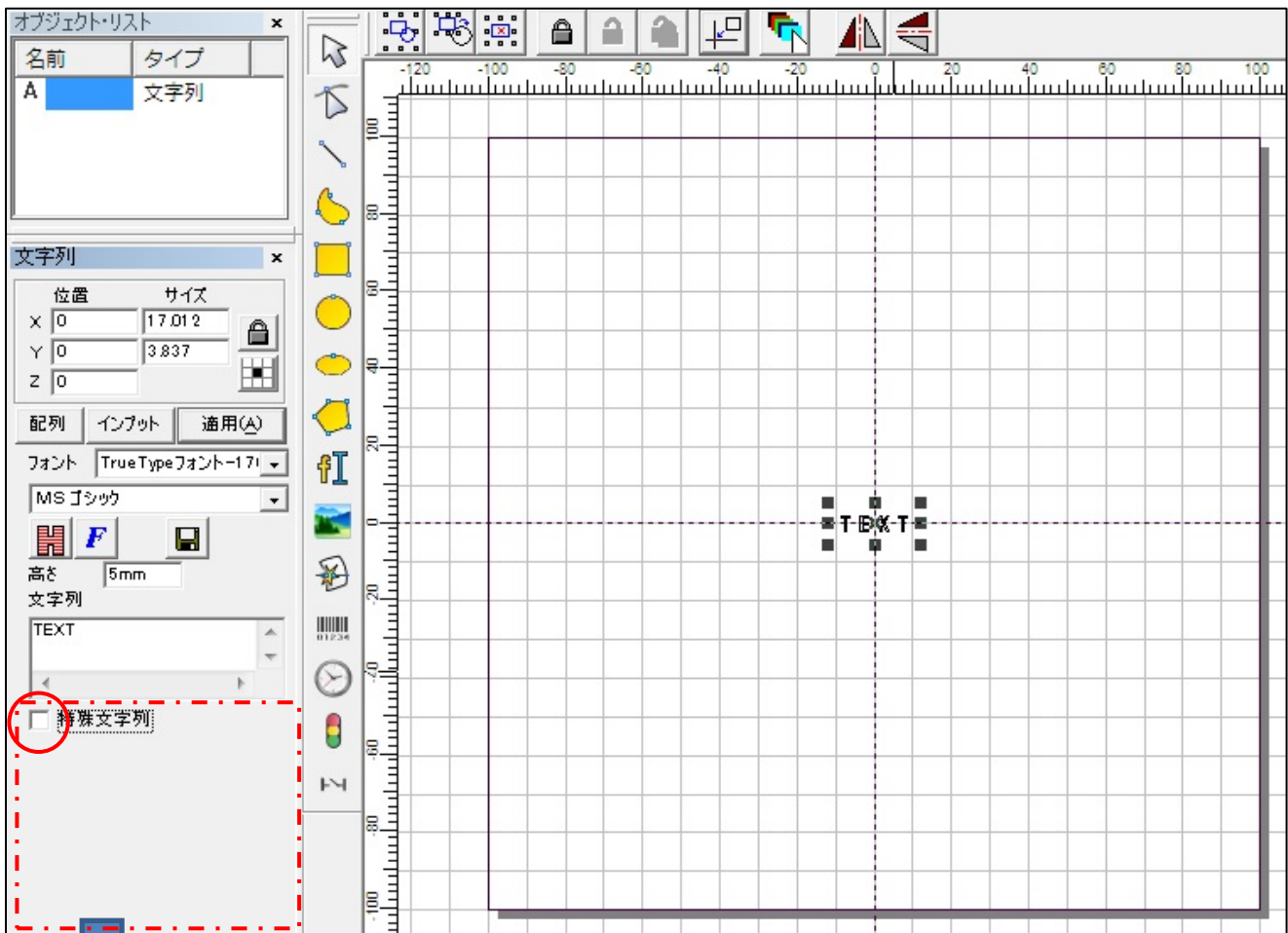
※右の3つのランプが点灯していること

特殊文字列の機能

特殊文字列は、操作中にカスタマイズできる、規律的でダイナミックなテキスト機能です。

特殊文字列の操作を行うには、一旦、通常の文字列を入力する必要があります。


「特殊文字列」にチェックマークを入れるとオブジェクトリストに特殊文字列機能の設定内容が現れます。

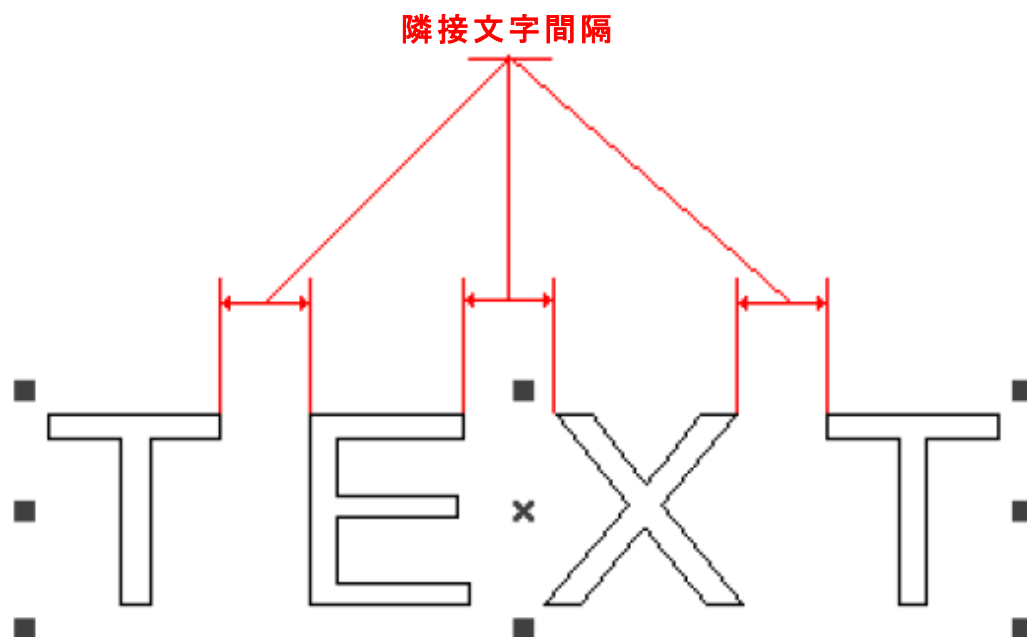



- ①文字間隔モードの設定
- ②文字間隔値の設定
- ③特殊文字列機能の追加
- ④特殊文字列機能の削除
- ⑤特殊文字列機能の項目移動
- ⑥特殊文字列機能の編集
- ⑦配列
- ⑧詳細設定

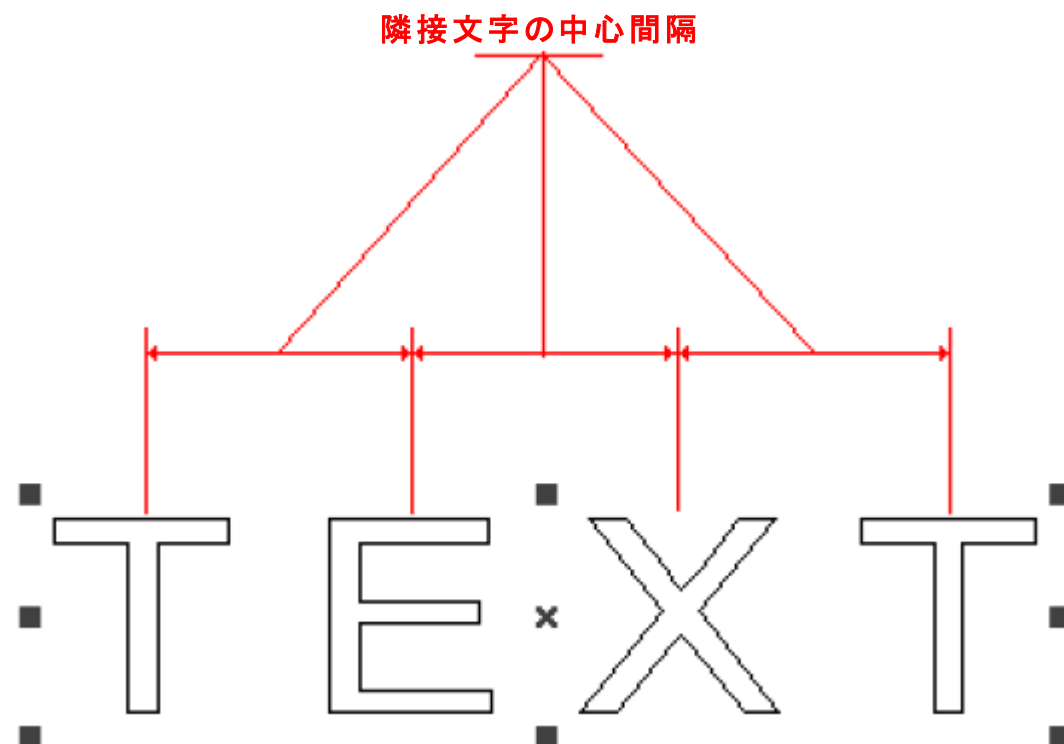
(1)文字間隔モードの設定

③の追加機能で入力する文字列の文字間隔のモード定義を指定します。
設定する間隔値は、②で入力します。

 TTモードは、以下のとおり隣接する文字の間隔を指定します。



 TTモードは、以下のとおり隣接する文字の中心間隔を指定します。



(2) 文字間隔値の設定

上記(1)で示した間隔の設定入力を行います。

(3) 特殊文字列機能の追加

「追加」ボタンをクリックすると以下のダイアログが表示されます。

特殊文字列

タイプ

- 固定文字列
- シリアルナンバー
- 日付
- 時間
- ネット情報
- シリアル接続情報
- ファイル
- キーボード
- SQL database

ユーザー名

先頭をゼロで埋めない

改行号

文字 TEXT

OK(O) キャンセル(C)

(a) 固定文字列

通常の文字列を入力定義します。

タイプ枠下のチェックマーク項目は、次のとおりです。

(ア) ユーザー名

この項目にチェックを入れるとシステムは現在のユーザー名を使用して固定テキストを自動的に置き換えます。

(イ) 先頭をゼロで埋めない

数値データのゼロサプレス(先頭“0”の表示をしない)をするかしないかの設定です。

但し、この項目は本機能(固定文字)では無効です。

(ウ) 改行号

連結している文字列の改行を行いたい場合に作成し、改行したい場所に設定します。

改行コードのみのデータとなります。

(b) シリアルナンバー

文字列内にシリアルナンバーを付加して、マーキングする度にカウントアップします。

特殊文字列

タイプ

- 固定文字列
- シリアルナンバー
- 日付
- 時間
- ネット情報
- シリアル接続情報
- ファイル
- キーボード
- SQL database

文字 TEXT

開始 0000

現在値 0000

最大値

加算値 1

終了数 1

モード Dec

Reset 0:00:00

Current Num 0

スキップ

*4

先頭をゼロで埋めない

OK(O) キャンセル(C)

(ア) 開始

ナンバリングの開始値です。

(イ) 現在値

現在の設定値です。

(ウ) 最大値

ナンバリングの最大値で、この値からの変化(通常は超過)で開始値に戻ります。

(エ) 加算値

ナンバリングの更新加算値です。

(オ) 終了数

同じナンバーでマーキングを行う回数です。(複写回数)

(カ) Current Num

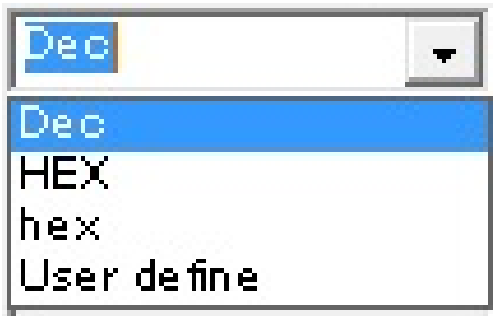
上記終了数を判定する為のカウンターです。(Current Num=終了数で次のナンバーに移る)

(キ) Reset

将来拡張用です。

(ク)モード

処理可能な数値モードを指定します。



① Dec

10進数のモードで処理を行います。

② HEX

16進数のモードで処理を行います。

尚、表記されるのは、アルファベットの大文字です。

③ hex

16進数のモードで処理を行います。

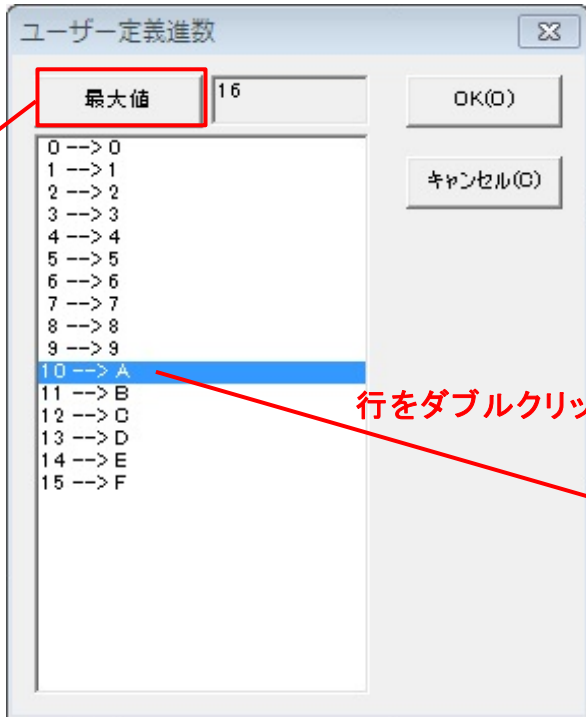
尚、表記されるのは、アルファベットの小文字です。

④ User define

本モードを選択すると次のように「セットする」ボタンが追記されます。

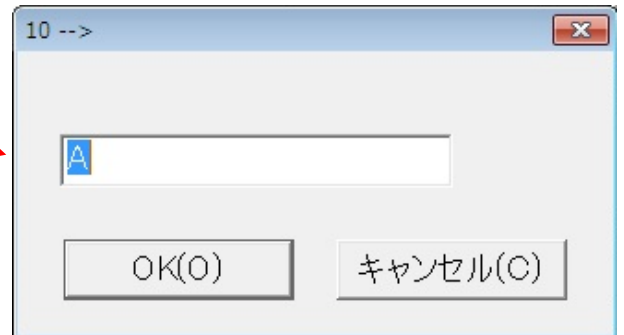


「セットする」をクリックすると以下のダイアログが表示されます。
また、対象とする行をダブルクリックすると編集入力画面が表示されます。

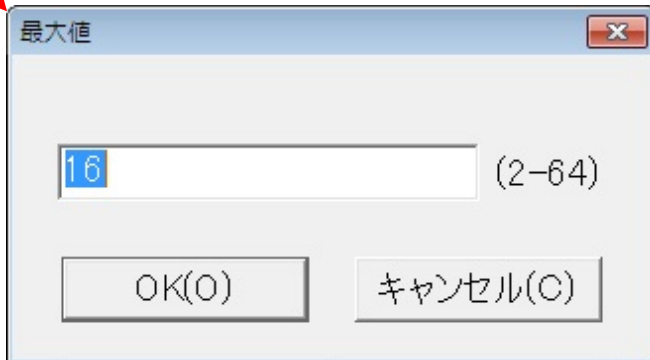


対応する数値に対して、表示内容を定義する

行をダブルクリック



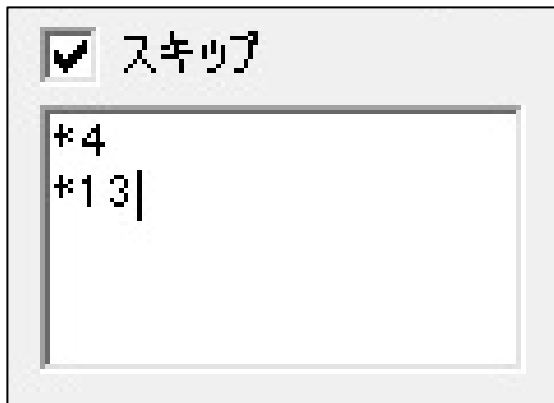
「最大値」ボタンをクリックすると変更入力画面が表示されます。



2から64までの値が入力可能
(現状は16進なので16を定義)

(ケ) スキップ

チェックマークを入れるとスキップするナンバーが設定可能となります。



上記例では、下1桁が=4の時と、下2桁が=13の時、スキップされて次のナンバーに自動更新されます。

※“*”を付けると一致したナンバーのみが対象となります。

(“4”のみを記述するとナンバーが、“04”の時にはスキップされません。)

(c) 日付

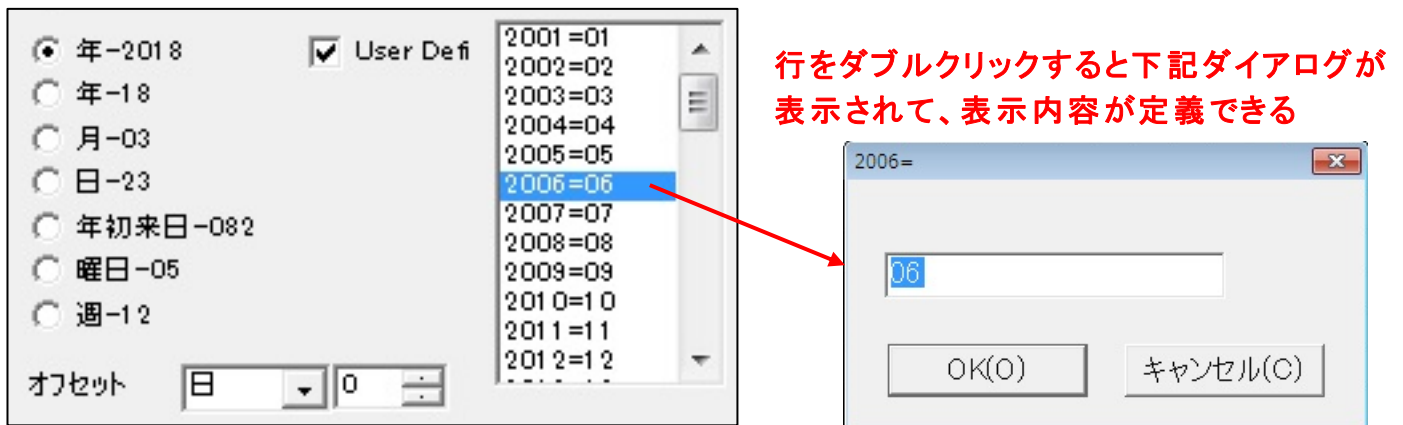
文字列内に日付を付加して、処理時点の日付情報をマーキングします。



(ア) 年—2018

4桁の年を付加します。(‘—’右は、現在年を表示しています。)

「UserDefi」にチェックを入れると以下のダイアログが表示されて、定義付けが可能となります。



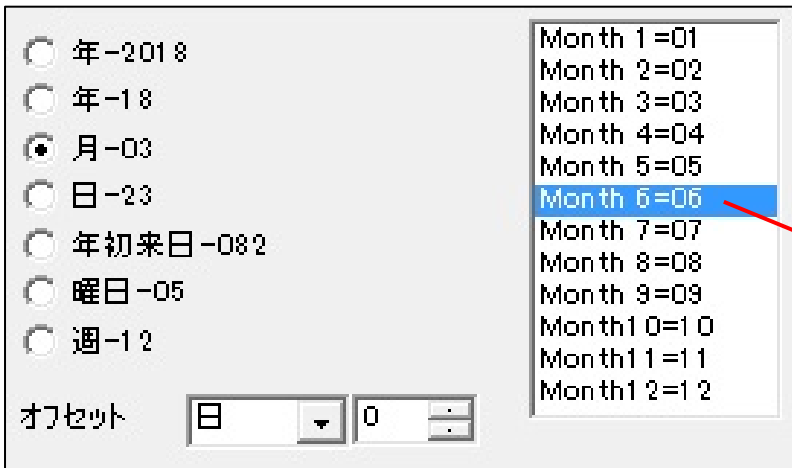
(イ) 年—18

下2桁の年を付加します。(‘—’右は、現在年を表示しています。)

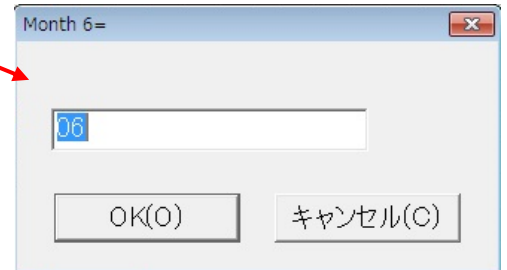
(ウ)月—03

月を付加します。(‘-’右は、現在月を表示しています。)

右に月一覧と定義情報が表示され、行をダブルクリックすると定義編集が可能になります。



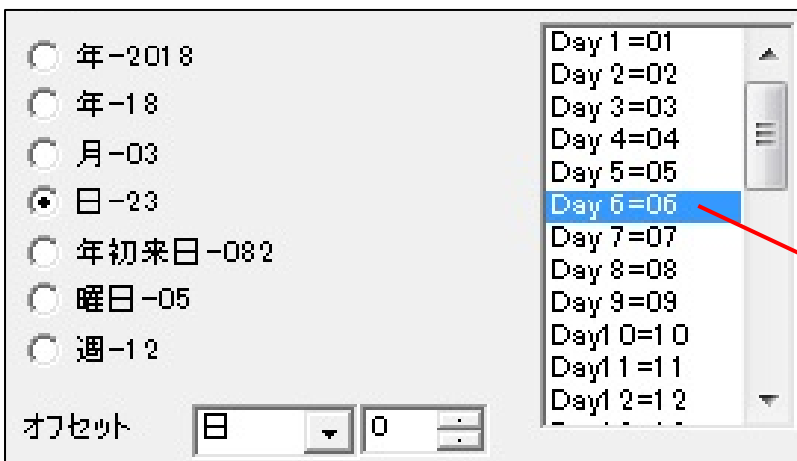
行をダブルクリックすると下記ダイアログが表示されて、表示内容が定義できる



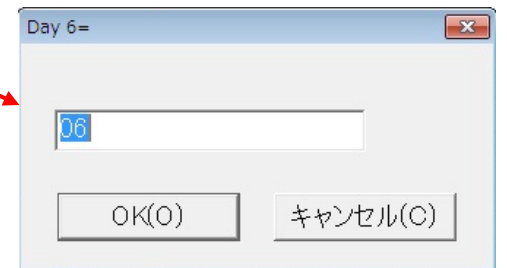
(エ)日—23

日を付加します。(‘-’右は、現在日を表示しています。)

右に日一覧と定義情報が表示され、行をダブルクリックすると定義編集が可能になります。



行をダブルクリックすると下記ダイアログが表示されて、表示内容が定義できる



(オ)年初来日—82

年初(元日)からの通算日を付加します。(‘-’右は、現在通算日を表示しています。)

(カ)曜日—05

曜日情報を付加します。(‘-’右は、現在曜日情報を表示しています。)

右に曜日情報一覧と定義情報が表示され、行をダブルクリックすると定義編集が可能になります。

行をダブルクリックすると下記ダイアログが表示されて、表示内容が定義できる

(キ)週—12

年初(元日)からの通算週を付加します。(‘-’右は、現在通算週情報を表示しています。)

右に通算週情報一覧と定義情報が表示され、行をダブルクリックすると定義編集が可能になります。

行をダブルクリックすると下記ダイアログが表示されて、表示内容が定義できる

(ク)オフセット

年、月、日の各々の情報に対するオフセットが設定できます。(マイナス値も設定可能)

※オフセット設定値は、各々独立しており他の情報に影響しませんので、注意が必要です。

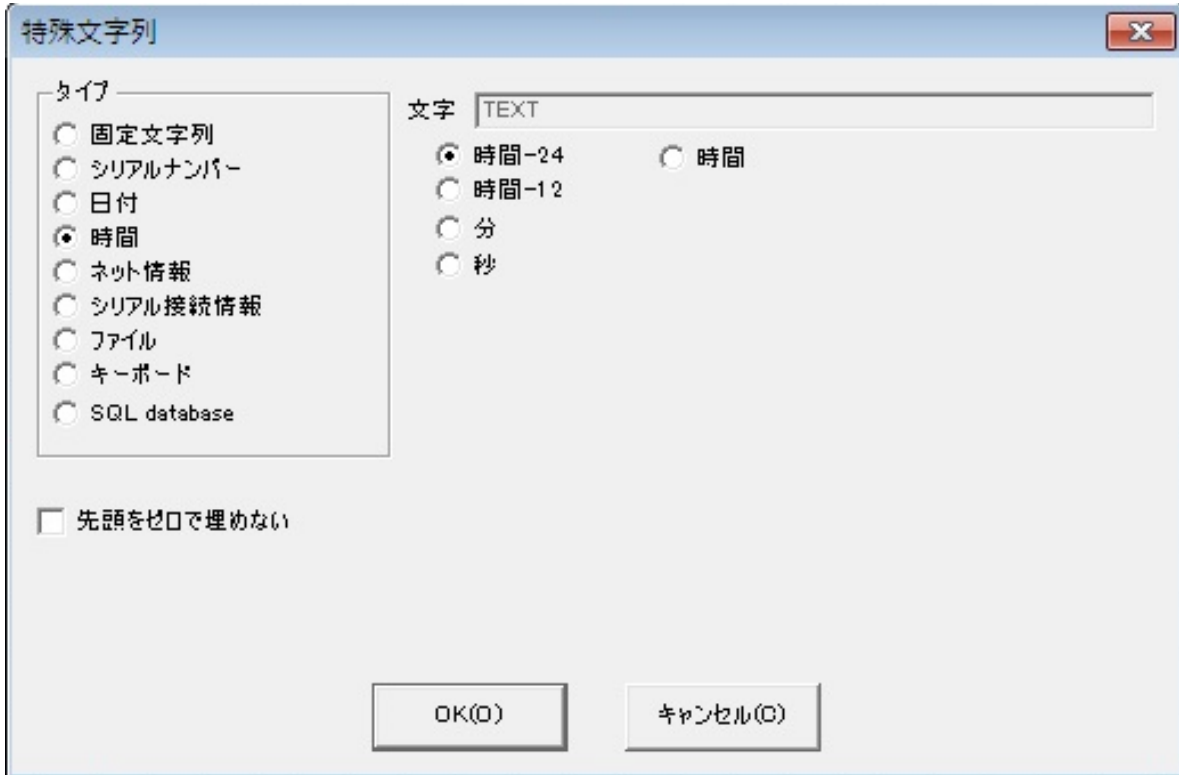
(例)年(2018)と月(03)と日(26)をそれぞれ定義します。

ここで、年の定義ダイアログで月のオフセットを“-4”に設定すると画面オブジェクトには、“20170326”と表示されます。

この理由は、現在月は3月であり、4か月遡ると2017年12月となりますので、“年”情報は2017年となりますが、これはあくまで“年”定義内でのオフセットであり、“月”情報には関係しません。従って、“月”は“03”のままとなります。

(d) 時間

文字列内に時間を付加して、処理時点の時間情報をマーキングします。



(ア) 時間-24

24時間表記の時刻を付加します。

(イ) 時間-12

12時間表記の時刻を付加します。

(ウ) 分

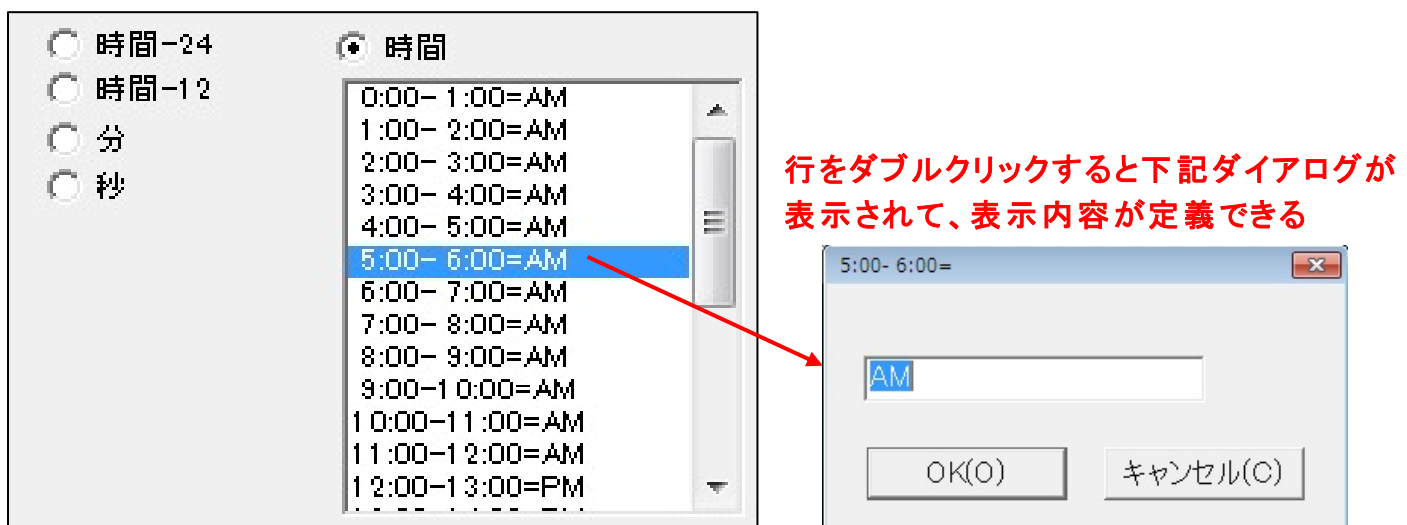
分を付加します。

(エ) 秒

秒を付加します。

(オ) 時間

「時間」にチェックすると以下のダイアログが表示されて、定義付けが可能となります。



(e) ネット情報

以下のダイアログで設定した接続情報に基づいて処理を実行します。

The dialog box is titled '特殊文字列' (Special Character String). On the left, under the 'タイプ' (Type) section, the 'ネット情報' (Network Information) radio button is selected. The '文字' (Text) field contains 'TEXT'. The 'IPアドレス' (IP Address) field is '192.168.0.1', the 'ポート番号' (Port Number) is '1000', and the '命令' (Command) is 'TCP:Give me string'. There is an unchecked checkbox for 'ユニコード' (Unicode). At the bottom left, there is an unchecked checkbox for '先頭をゼロで埋めない' (Do not pad with zeros). The 'OK(O)' and 'キャンセル(O)' buttons are at the bottom.

(f) シリアル接続情報

以下のダイアログで設定した接続情報に基づいて処理を実行します。

The dialog box is titled '特殊文字列' (Special Character String). On the left, under the 'タイプ' (Type) section, the 'シリアル接続情報' (Serial Connection Information) radio button is selected. The '文字' (Text) field contains 'TEXT'. The 'ポート番号' (Port Number) is 'COM1', 'ポートレート' (Port Rate) is '115200', 'データビット' (Data Bits) is '8', 'ストップビット' (Stop Bits) is '1', and '偶数と奇数' (Even and Odd) is 'NO'. The '命令' (Command) is 'COM:Give me string'. There is an unchecked checkbox for 'ユニコード' (Unicode). At the bottom left, there is an unchecked checkbox for '先頭をゼロで埋めない' (Do not pad with zeros). The 'OK(O)' and 'キャンセル(O)' buttons are at the bottom.

(g)ファイル

以下のダイアログで設定した接続情報に基づいて処理を実行します。

① Textファイル

The dialog box is titled '特殊文字列' (Special Text String) and has a close button (X) in the top right corner. On the left, there is a 'タイプ' (Type) section with a list of radio buttons: '固定文字列' (Fixed text string), 'シリアルナンバー' (Serial number), '日付' (Date), '時間' (Time), 'ネット情報' (Network information), 'シリアル接続情報' (Serial connection information), 'ファイル' (File), 'キーボード' (Keyboard), and 'SQL database'. The 'ファイル' option is selected. Below this list is a checkbox labeled '先頭をゼロで埋めない' (Do not pad with zeros at the beginning), which is currently unchecked. On the right side, there is a '文字' (Character) field containing 'TEXT'. Below it are two radio buttons: 'Txt' (selected) and 'Excel'. There are two input fields: 'ファイル名' (File name) with a '>>' button to its right, and '行番号' (Line number) set to '1' and '間隔' (Interval) set to '1'. Below these are two checkboxes: '自動リセット' (Auto reset) and 'すべての行を読み込む' (Load all lines), both of which are unchecked. At the bottom, there are two buttons: 'OK(O)' and 'キャンセル(C)'.

② Excelファイル

The dialog box is titled '特殊文字列' (Special Text String) and has a close button (X) in the top right corner. On the left, there is a 'タイプ' (Type) section with a list of radio buttons: '固定文字列' (Fixed text string), 'シリアルナンバー' (Serial number), '日付' (Date), '時間' (Time), 'ネット情報' (Network information), 'シリアル接続情報' (Serial connection information), 'ファイル' (File), 'キーボード' (Keyboard), and 'SQL database'. The 'ファイル' option is selected. Below this list is a checkbox labeled '先頭をゼロで埋めない' (Do not pad with zeros at the beginning), which is currently unchecked. On the right side, there is a '文字' (Character) field containing 'TEXT'. Below it are two radio buttons: 'Txt' and 'Excel' (selected). There are two input fields: 'ファイル名' (File name) with a '>>' button to its right, and '行番号' (Line number) set to '1' and '間隔' (Interval) set to '1'. Below these is a 'フィールド名' (Field name) dropdown menu. There is one checkbox: '自動リセット' (Auto reset), which is unchecked. At the bottom, there are two buttons: 'OK(O)' and 'キャンセル(C)'.

(h) キーボード

以下のダイアログで設定した接続情報に基づいて処理を実行します。

特殊文字列

タイプ

- 固定文字列
- シリアルナンバー
- 日付
- 時間
- ネット情報
- シリアル接続情報
- ファイル
- キーボード
- SQL database

文字 TEXT

注意 文字列の入力

文字数を固定する 10

Set Pen Param PENPOWER

先頭をゼロで埋めない

OK(O) キャンセル(C)

①注意

プロンプト画面で表示されるメッセージ内容です。

②文字数を固定する

チェックを入れて、プロンプト画面で入力する文字数の固定値を設定します。

従って、指定された文字数分が入力されないとプロンプト画面が終了されません。

③SetPenParam

チェックを入れるとオブジェクトリストの項目表示とオブジェクトで表示される文字内容が入力内容で固定表示されます。(チェックを外すと前回のプロンプト画面入力データに即座に変わります。)

レーザー照射(「開始」ボタンのクリック)を行うと下記のプロンプト画面が表示されて、入力を促します。

文字列を入力してください

文字列の入力

ABCDEFGH

OK(O) キャンセル(C)

入力を行い、「OK」をクリックすると即座にレーザー照射が始まりますので、注意が必要です。

「③SetPenParam」にチェックがない時は、オブジェクトリストの項目表示とオブジェクトで表示される文字内容が入力データに変わります。

(i) SQL database

以下のダイアログで設定した接続情報に基づいて処理を実行します。

特殊文字列

タイプ

- 固定文字列
- シリアルナンバー
- 日付
- 時間
- ネット情報
- シリアル接続情報
- ファイル
- キーボード
- SQL database

先頭をゼロで埋めない

文字

Sql Drivers

DBQ File >>

User ID

パスワード

SQL Command

行番号 間隔

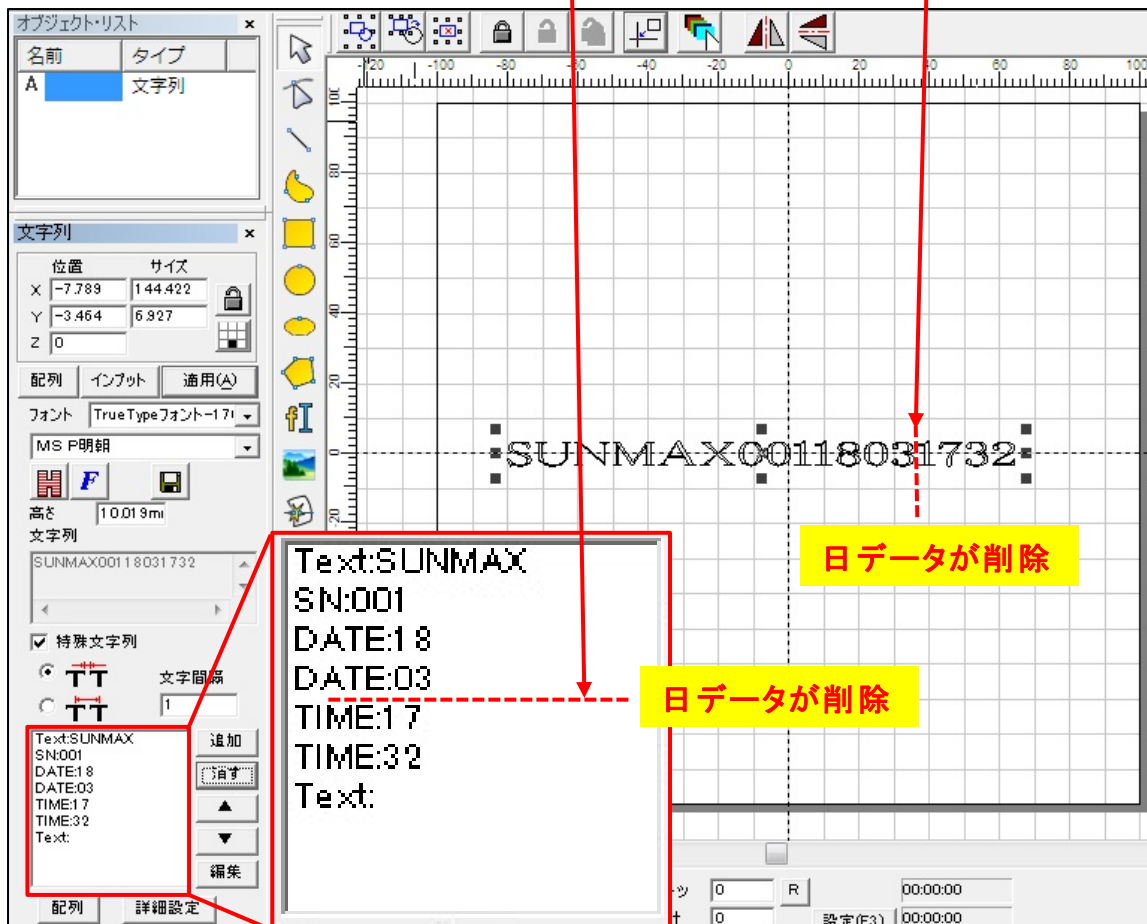
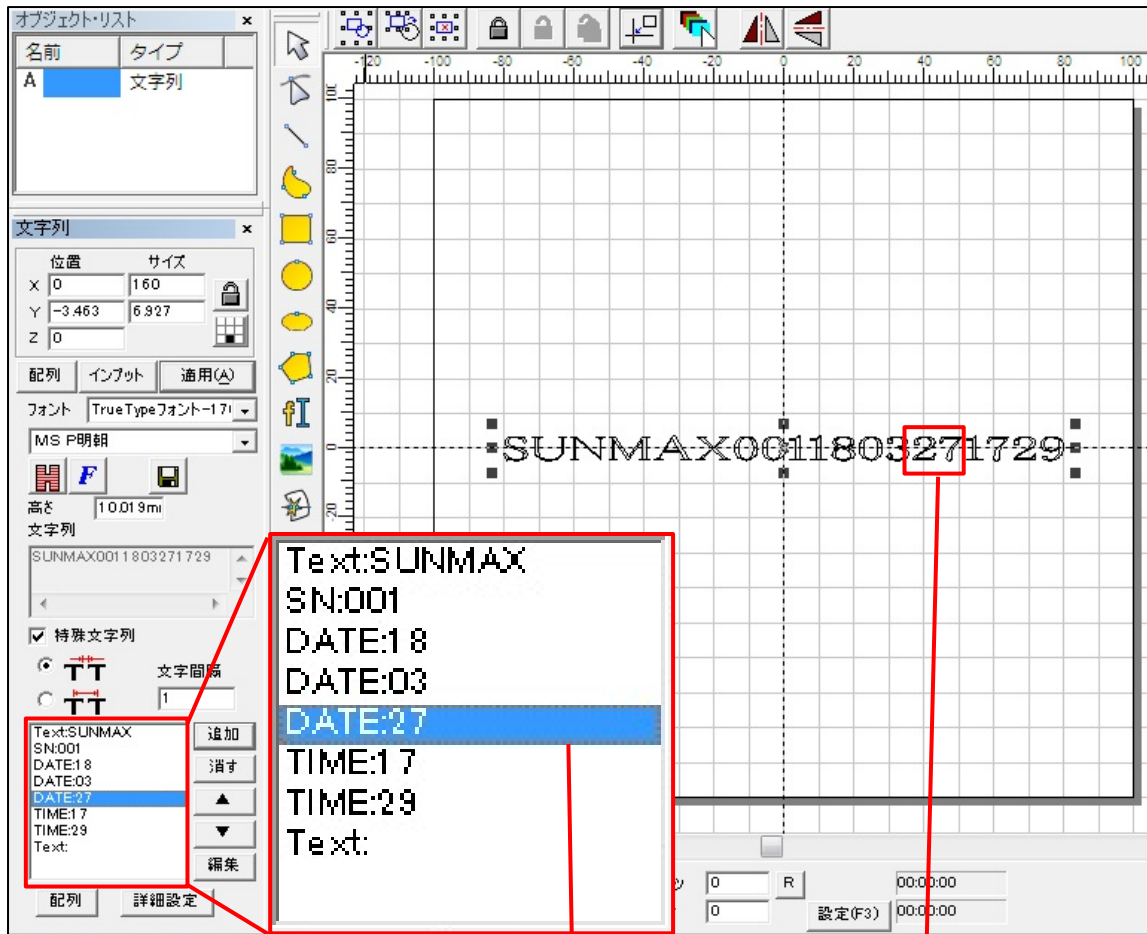
自動リセット

すべての行を読み込む

OK(O) キャンセル(C)

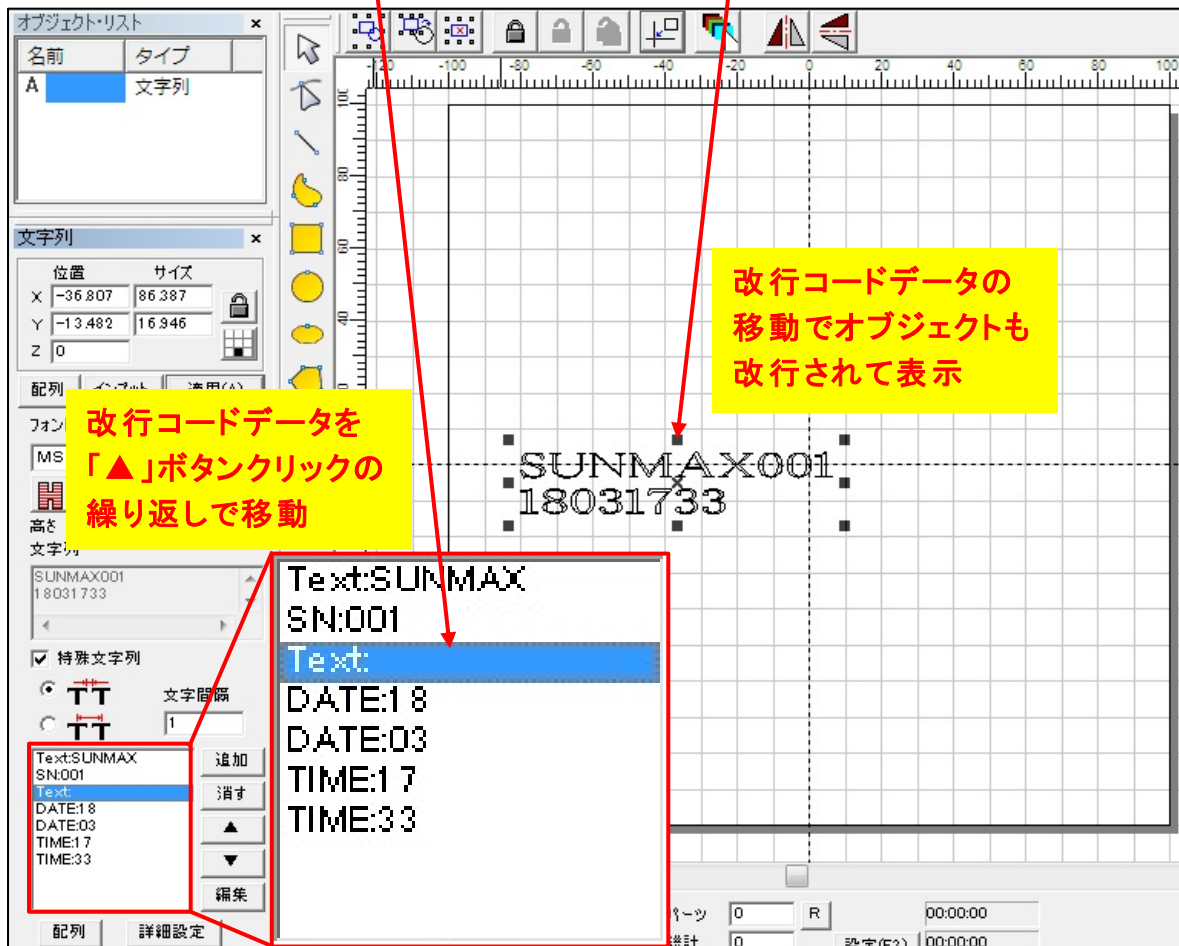
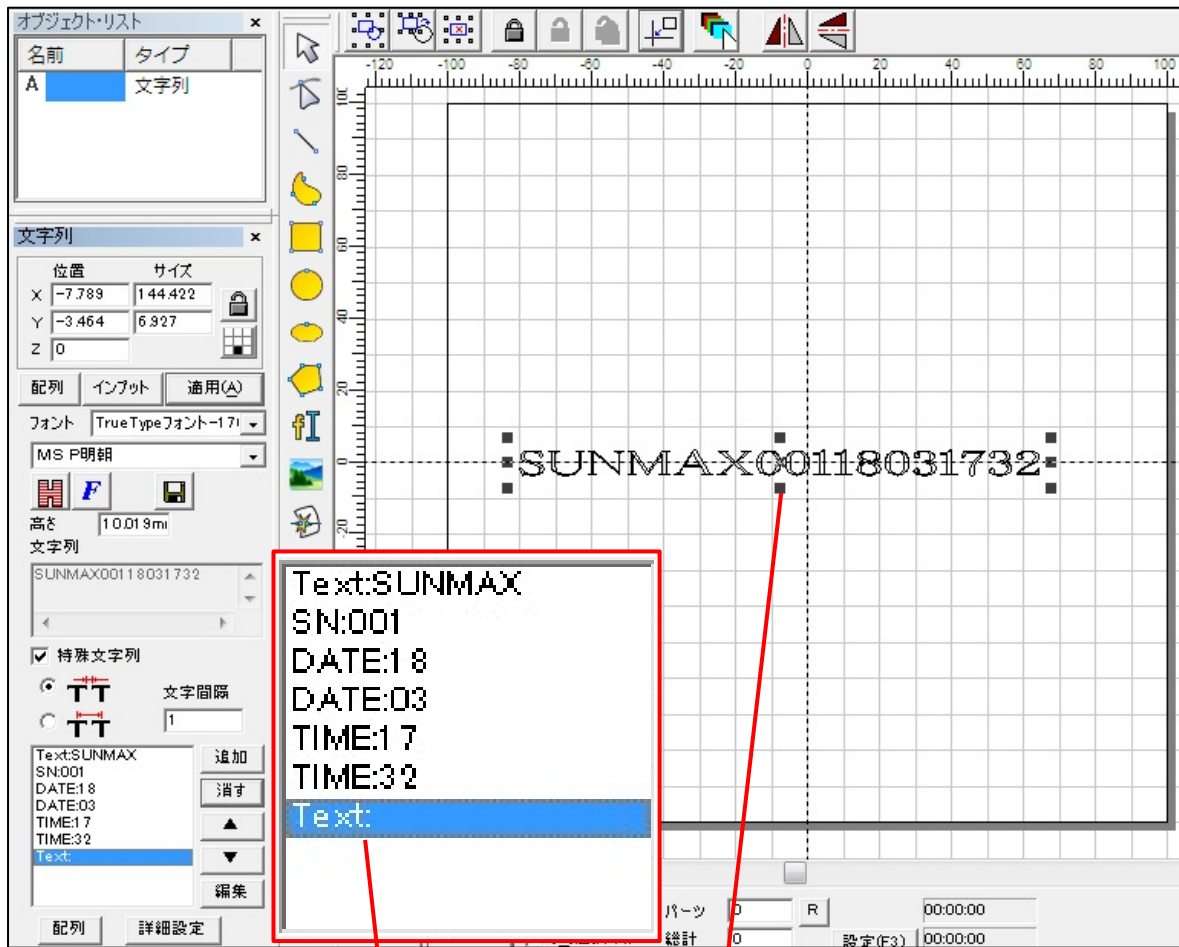
(4) 特殊文字列機能の削除

項目一覧の中で、削除対象の行を選択して、「消す」ボタンをクリックすると選択した項目が削除されます。



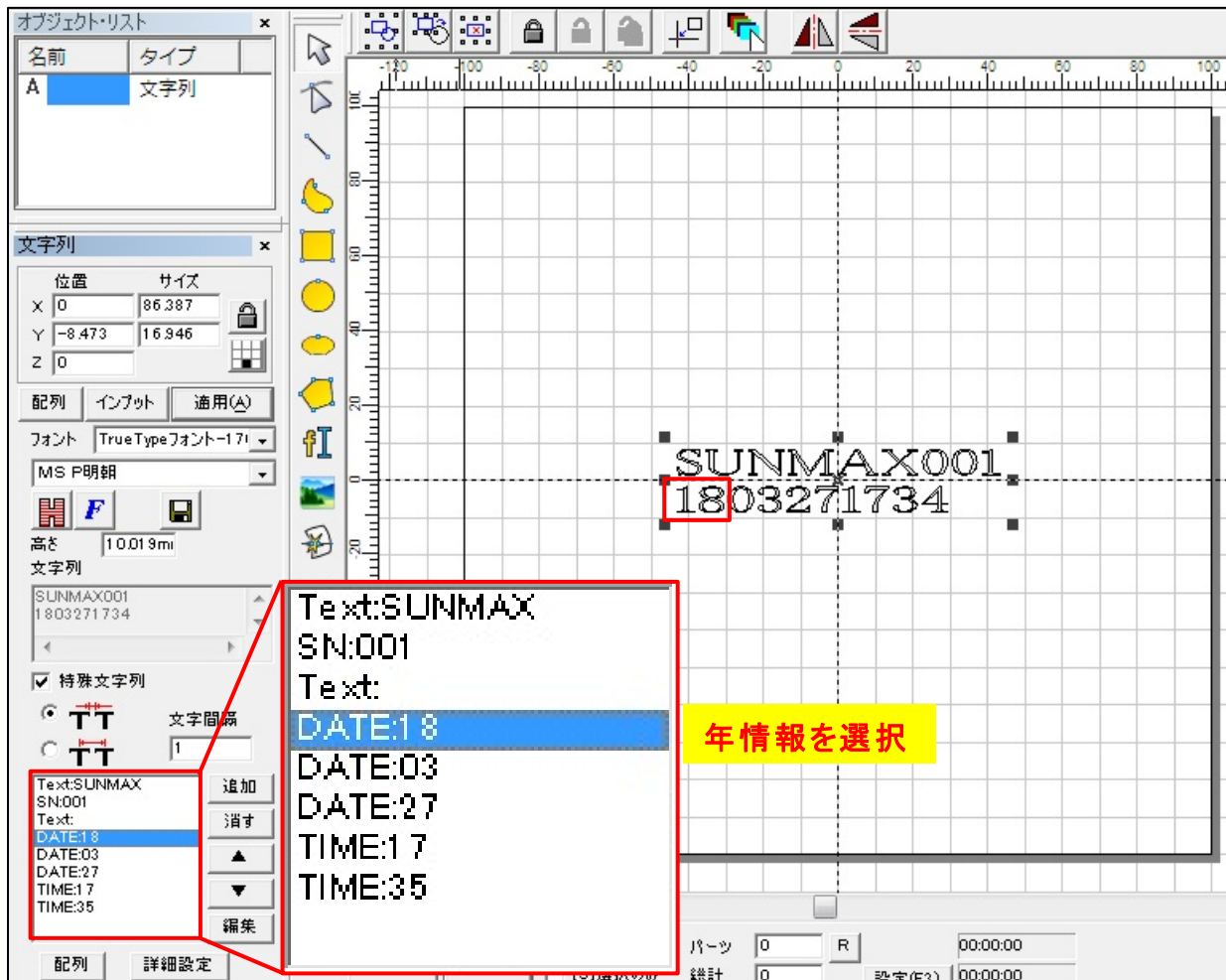
(5) 特殊文字列機能の項目移動

項目一覧の中で、対象の行を選択して、「移動」ボタン(▲、▼)をクリックすると選択した項目が、ボタン方向に移動します。



(6) 特殊文字列機能の編集

項目一覧の中で、対象の行を選択して、「編集」ボタンをクリックすると選択した項目を編集できます。



対象とする行を選択して、「編集」ボタンをクリックすると以下のダイアログが表示されます。



変更の結果は以下のとおり、年情報が2桁から4桁に変更されました。

オブジェクトリスト

| 名前 | タイプ |
|----|-----|
| A | 文字列 |

文字列

位置 サイズ

X 0.892 88.171

Y -8.473 16.946

Z 0

配列 インプット 適用(A)

フォント TrueTypeフォント-171

MS P明朝

高さ 10.019mm

文字列

SUNMAX001
201803271743

特殊文字列

TT 文字間隔

TT

Text:SUNMAX
SN:001
Text:
DATE:2018
DATE:03
DATE:27
TIME:17
TIME:43

追加
消す
▲
▼
編集

配列 詳細設定

パーツ 0 R 00:00:00

総計 0 設定(F3) 00:00:00

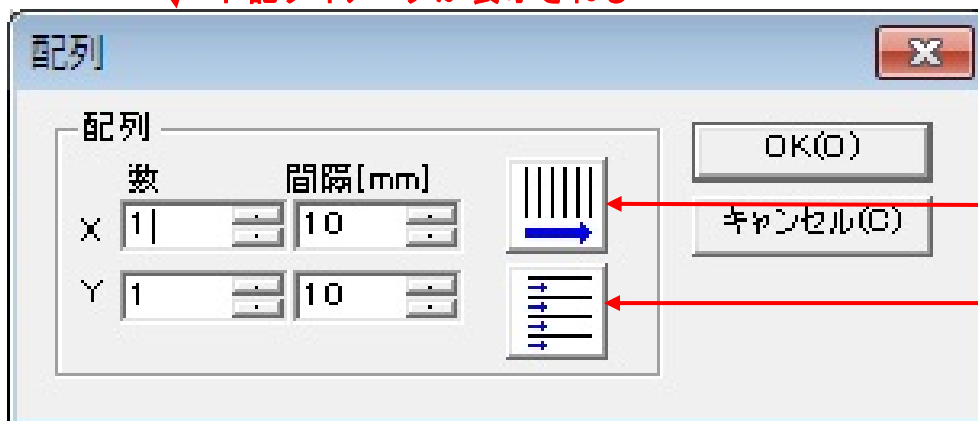
年情報が4桁年に変更

(7) 配列

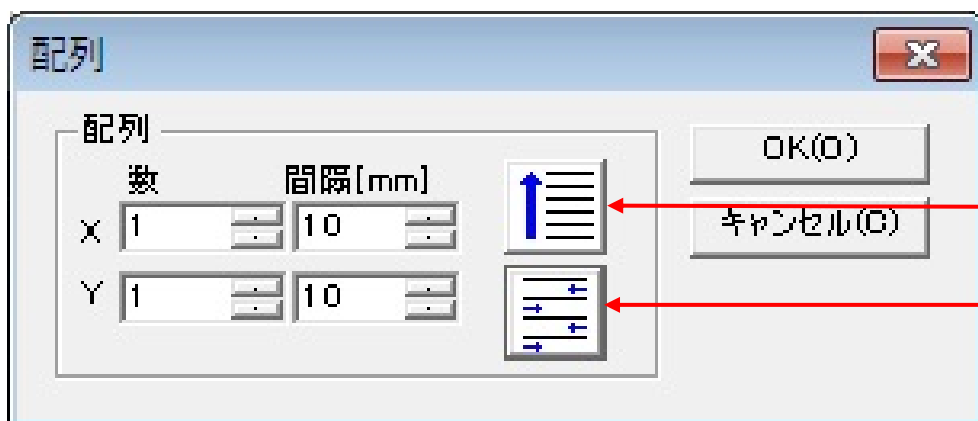
画面左下にある「配列」ボタンをクリックすると以下のダイアログが表示されます。



「配列」をクリックすると
下記ダイアログが表示される



ボタンをクリックすると
それぞれ切り替わる



※「配列」に関する詳細内容は、「EzCad2J ユーザーマニュアル.pdf」の「3. 4. 1 配列」を参照ください。

(8) 詳細設定

画面左下にある「詳細設定」ボタンをクリックすると下記のダイアログが表示されます。

特殊文字列

文字間隔

1

KB:文字列の入力

追加

消す

▲

▼

編集

配列

詳細設定

「詳細設定」をクリックすると
下記ダイアログが表示される

詳細設定

文字列を分解できるようにする

自己をマックスする

文字の幅を揃える

10 mm

追加

消す

編集

OK(O)

キャンセル(C)

「文字列を分解できるようにする」にチェックを入れると

- ・「自己をマックする」が指定可能になる
- ・「追加」、「消す」、「編集」が可能になる

詳細設定

文字列を分解できるようにする

自己をマックする

文字の幅を揃える mm

追加

消す

編集

OK(O) キャンセル(C)

「追加」をクリックすると以下の入力画面が表示されます。

パラメータ

開始位置

文字数

変更する文字列

Add Char Mode

OK(O) キャンセル(C)

(注意事項)

- ・本設定を行うとコードデータとなります。
- ・「自己をマックする」にチェックを入れないとレーザー照射が行われません。